

「中国地方国際物流戦略チーム 第8回本会議」を開催しました

○中国地方国際物流戦略チーム※本会議(本部長: 苅田 知英 中国経済連合会会長)において、平成30年7月豪雨災害により広域物流ネットワークが寸断されたことによる影響や、利用者懇談会等での意見を踏まえた、「産業競争力強化のための物流の連携強化、生産性向上及び物流ネットワークの強靱化」に関する政策提言がとりまとめられた。

○また、新たな取り組みとして、平成30年7月豪雨における広域物流ネットワーク寸断に伴う物流面の問題点を洗い出し、今後の中国地方管内における非常災害時の物流のあり方を検討する「物流ネットワーク機能継続検討ワーキンググループ(仮称)」を設置することが承認された。

※中国地方国際物流戦略チームとは、関係機関相互の密接な連携により、地域の実情に応じた国際物流のボトルネックの解消と、効率的な新しい物流システムの構築を目指すことを目的に、産学官の関係者で構成された組織。平成18年8月に設置し、本会議、部会、利用者懇談会を行っている。

開催概要

- 【開催日】平成30年10月9日(火) 15:00~17:00
- 【場 所】グランドプリンスホテル広島 2階『瀬戸内』
- 【次 第】(1) 報告事項
 - ①中国地方国際物流戦略チームの取り組み
 - ②中国地方国際物流戦略チームの要望活動について
 - ③「平成30年7月豪雨災害」における物流への影響について(2) 審議事項
 - ①平成30年の政策提言(案)について
 - ②今後の新たな取り組みについて



中国地方国際物流戦略チーム第8回本会議 開催状況

- <主な意見内容>
(物流関係団体等)
- ・人材確保について、なぜ若者が来ないのか。給料ではなく休みをとれるかどうかというのが非常に大きなポイント。実際に我々が面接している学生等についても、初任給はどうでも良い。休みは取れるのか、週休2日は本当に取れるのか。こういうことの方に重きがおかれている現状がある。
 - ・災害の中で鉄道施設が被災するのは仕方ないが、鉄道施設外の要因による、たとえば土砂崩壊や土砂の流入といったもので被災してしまうケースが多く存在する。こういったものについて何らかの予防措置が必要なのではないかと考えている。
- (地方公共団体等)
- ・山陰道の未供用区間について、早く供用できれば、山陽側の災害に対して代替機能を発揮するのではないかと改めて感じたところ。
 - ・今回の豪雨災害と同規模の事象が日本のどこかで起こりうることや、南海トラフ巨大地震を想定する中で、現在の広域物流ネットワークが長期間寸断された場合、どのように物流機能を継続していくのかが重要な課題だと実感した。
- (有識者)
- ・航路の開設に繋がるような新しい取り組みとしての防災・減災。そういう取り組みに是非積極的に参加していただきたい。
 - ・大学生の就職観について、単純に給料の多さだけではなく柔軟な働き方ができるかどうかを重視する人が増えてきているなど、若者の価値観が最近変わってきている。そうした就職観の変化の中で人材確保を進めていく上では、若者目線を知ることが鍵になってくる。企業が自社の魅力を発信する時期について、低学年時すなわち就職を意識する前の段階で各企業の取り組みをどのように伝えていくか、学生と企業の出会いの場をどのように設定していくかといったことが重要になってくると思う。
 - ・防災・減災のために必要な物流機能を、拠点とルート両方から見直していくということ、技術的・物理的・制度的にやっていく必要がある。この点は、中国地方整備局、中国運輸局、各港湾管理者の方々に協力して知恵を絞っていただきたい。

中国地方国際物流戦略チームの概要

設置目的

- ・中国・ASEAN等が生産拠点・販売拠点として急成長し、国内企業が調達・製造・販売拠点をアジアにシフト
- ・我が国の経済活動を支える国際物流と国内の陸・海・空の各輸送モードが有機的に結びついた迅速、低廉でシームレスな物流ネットワークの構築が必要
- ・関係機関相互の密接な連携により、地域の実情に応じた国際物流のボトルネックの解消と、効率的な新しい物流システムの構築を目指す

組織

中国地方国際物流戦略チーム（本会議）委員名簿

	所属及び役職
経済団体等	一般社団法人 中国経済連合会 会長（本部長）
	中国地方商工会議所連合会 会頭
有識者	広島大学 名誉教授
	岡山大学大学院 社会文化科学研究科 教授
	島根県立大学 総合政策学部 教授
物流関係団体等	広島大学大学院 工学研究科 准教授
	中国地方海運組合連合会 会長
	中国地方港運協会 会長
	神戸通関業会 理事長
	門司通関業会 会長
	中国トラック協会 会長
	中国地方倉庫協会連合会 会長
	中国冷蔵倉庫協議会 会長
	広島国際航空貨物運送協会 会長
	日本貨物鉄道株式会社 関西支社 広島支店長
地方公共団体等	鳥取県知事
	島根県知事
	岡山県知事
	広島県知事
	山口県知事
	呉市長
境港管理組合 管理者	

	所属及び役職
地方支分部局等	総務省 中国総合通信局長
	法務省 広島入国管理局長
	財務省 神戸税関長
	財務省 門司税関長
	厚生労働省 広島検疫所長
	厚生労働省 神戸検疫所長
	厚生労働省 福岡検疫所 門司検疫所支所長
	農林水産省 神戸植物防疫所長
	農林水産省 動物検疫所 神戸支所長
	経済産業省 中国経済産業局長
	国土交通省 中国地方整備局長
	国土交通省 中国地方整備局 副局長
	国土交通省 中国運輸局長
	国土交通省 大阪航空局長
	海上保安庁 第六管区海上保安本部長
	海上保安庁 第七管区海上保安本部長
	海上保安庁 第八管区海上保安本部長
株式会社日本政策投資銀行 中国支店長	

本会議

- 中国地方国際物流戦略チームの活動方針の策定
- 活動方針に基づく、政策提言の方向性策定

物流チームの活動方針 ↔ 各期（Ⅰ～Ⅴ期）の提言方向性

部会

- 広域的な重要課題の検討（方向性提示）
- （各年度）政策提言の策定

- 中国地域における広域的な重要課題の抽出
- （各年度）政策提言のフォローアップ

PDCA

- 利用者懇談会を踏まえた各港湾の意見集約

利用者懇談会

- 各港湾における取り組み状況・課題に関する意見交換

中国地方国際物流戦略チームの活動概要 (2006年度～2018年度)

- ・「中国地方国際物流戦略チーム」では、2006年8月の設置以降、**7回の本会議、18回の部会、37回の各港利用者懇談会**を開催。
- ・利用者懇談会で頂いた意見・要望をもとに、部会・本会議で政策提言へ反映させ、政府や中央省庁へ要望を行っている。

【利用者懇談会における意見】

- ・バルク貨物への支援策の検討
- ・港湾施設の新規整備、維持補修
- ・道路整備によるボトルネックや渋滞の解消
- ・夜間入出港、航行の規制緩和
- ・専用岸壁の改良や航路の維持浚渫への補助
- ・新規航路の誘致、既存航路の増便・維持支援
- ・港湾施設利用料の減免
- ・各種行政手続きの簡素化
- ・観光と物流の協調
- ・港の連携に向けた実務レベルの勉強会実施
- ・物流機能の強化に向けた内航定期航路誘致
- ・災害時の避難経路確保や港湾施設の耐震化
- ・船員不足、高齢化に対する行政の支援

等



利用者の声を聞き、物流の更なる効率化を目指します

【政策提言へ反映 (2018)】

産業活動の国際競争力強化に資する物流の実現

- 国際バルク戦略港湾、日本海側拠点港、国際拠点港湾等における機能の充実
- 国際物流機能の維持・強化

国内物流の効率化に向けた連携の強化

- 地域間等の連携による物流効率化
- 多様な関係者との連携と協力による物流効率化

労働力不足に対する人材確保・育成・活用施策の促進

- 人材確保・育成施策促進
- 事業者間連携の促進
- ICT等の先進的技術活用

大規模災害に備えた強靱な物流ネットワークの構築

- 物流におけるリダンダンシーの確保、災害に強い物流システム
- 災害時における支援物資の輸送ネットワークの強靱化

【要望活動】



中国地方国際物流戦略チーム有志一同による政府への要望活動状況(H29.11.16) 3